

オンラインプラットフォームを用いた 外国語学習方法の開発

研究 概要

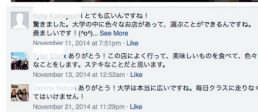
キーワード 人文社会系 / 人文学 / 外国語教育

「学び」には、学校の授業のように組織的かつ計画的に学習するようなフォーマルな学びと、そうでないものがあります。例えば、何かを組み立てるのに英語でしか説明書がなく単語を調べながら組み立てるうちにその単語を覚えたというような例です。それらをインフォーマルな学び、もしくは、インフォーマルラーニングと呼びます。インフォーマルラーニングによる学習効果は約70%定着するとされています。

本研究の目的は、教室内活動を、教室外のインフォーマルラーニングへと導くための教育ツールの開発およびその有効性の検証にあります。ソーシャル・ネットワークサービス(SNS)に代表されるオンラインプラットフォーム(Facebook、ブログ、GoogleMaps、ゲームなど)の利点を言語学習の有効なツールとして活用する方法を開発し、日本の英語学習者と海外の日本語学習者がお互いの学習言語で相互に交流することにより教室内活動から教室外で学生から積極的に語学学習を行うことを狙いとしています。またそれらの活動を通してインフォーマルラーニングへ導き、それによる学びやモチベーションを長期的、継続的に観察し、質的量的の両側面より検証しています。(本研究は平成25~28年日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)の助成を受けたものです)



私たちの大学！「」をぜひ見て下さい！



今後の 展開や メッセージ

言語は、コミュニケーションのツールです。言葉だけのではなく異文化理解も含めた習得が必要だと言われています。今後は異文化理解能力も含めた言語習得に関する研究を進めていくと共に、言語教育・学習支援、更に国際交流支援、文化事業への協力などのコラボレーション事業も実施していきたいと思っています。

研究者 情報



藤井 清美 教授・修士
基礎教育部 英語教育課程

関西外国語大学外国語学部英米語学科卒。オレゴン大学(University of Oregon)大学院東アジア言語文学(East Asian Languages and Literatures)学部修士課程修了。コロラドカレッジ文化コーディネーター、ローレンス大学中国語日本語学部日本語プログラム非常勤講師、アリゾナ大学東アジア研究学部日本語プログラム講師を経て、2010年本学准教授就任。2018年現職。

研究者情報URL

<https://kitap01.kanazawa-it.ac.jp/researcherdb/researcher/RAHBAD.html>